山都町立矢部小学校　学校だより

自分らしく～Be Unique～

矢部小HP
２次元コード←カラー閲覧できます
令和６年１２月９日（月）　第３３号
校　長　池部　聖吾智（みわとも）

「成長」する矢部小学校

本校HPにも掲載しましたが、６日に県教育委員会による学校視察がありました。６月に上益城教育事務所の総合訪問から約半年過ぎました。教育事務所からは、「子どもたちの成長や先生方の指導力向上を感じた」という感想が出されました。

また県教委義務教育課からは、６年生の「書く力」や子どもたちが落ち着いた態度で学習に向かう態度を高く評価されました。低学年からの積み重ねやこれまでの矢部小の指導の積み重ねがあってのことです。さらに進化させていきたいと思います。

また本校の　　　　先生がこのほど熊本県教育功労表彰を受けました。熊本地震発生時の学校再開までの取組経験を活かし、熊本県からの派遣団の一人として石川県に支援に出向いたり、県・郡の養護教諭部会のリーダーとして人材育成にもあたっている功績を表彰されました。

※表彰の様子は、上益城教育事務所HPに掲載されてます。

なぜ挨拶（あいさつ）するの？　ハンドポケットは、なぜいけないの？

先日、ある地域の方から「小学生の挨拶状況を寂しく感じます・・」と言われました。私自身も日々朝の見守りをしていて感じていたことでした。帽子をとって大きな声で挨拶できる子もいれば、何も言わずに（毎日ではありませんが）通り過ぎる子もいます。地域の目からすれば、どうしてもマイナス面に目が行くのでしょう。私はこの件を「合唱の声」を全力で出していない現実と重ねました。

さらに、もう１つ気になることがあります。本通信前号で「ハンドポケット」の現状について述べました。その後も、相変わらず私から指導される子もいます。中には、私の姿を見て慌ててポケットから手を出す子もいます。「私のために（私から言われるから）ポケットから手を出しているの？」と言いたくもなります。

ハンドポケットの危険性については前号で述べましたので、ここでは省略します。ここで矢部小の皆さんへ課題を出します。「なぜ挨拶をするのか？」について各自で調べてみてください。近日中に聞きます。

矢部抄

最近、変更を要する事案が多い。特に先週は3つ続いた▼①交通系ICカードが県内で使えなくなったので「くまモンICカード」を購入した▼②「マイナ保険証」を基本とする仕組みへの移行初日に歯医者に行った。マイナで受付すると、質問項目が3つほどあってそれに答えていかねばならないのが面倒だった。ただし提示は、これまで通り一ヶ月に一度でよい▼③ある公共施設でコーヒーを買おうかと自販機に行ったら硬貨を持ち合わせなかったので新札を入れたが受け付けてもらえずガッカリした。こういう時は「今飲むと身体を壊すから飲むなというお告げなのだな」と考えるようにしている▼世間では少しずつクリスマスモードになってきた。私も１２月に入り、目覚ましの音楽を「クリスマスイブ(山下達郎)」に替えた。クリスマス曲を聴くだけでテンションが上がる。ちなみに運転時のBGM用にクリスマスソング特集を昨年作成した。通勤中に流そうかな♪